平成29年度当初予算

平成29年度当初予算は、一般会計・特別会計・企業会計の総額で374億2,760万円（前年度比1.8％減）の予算となりました。

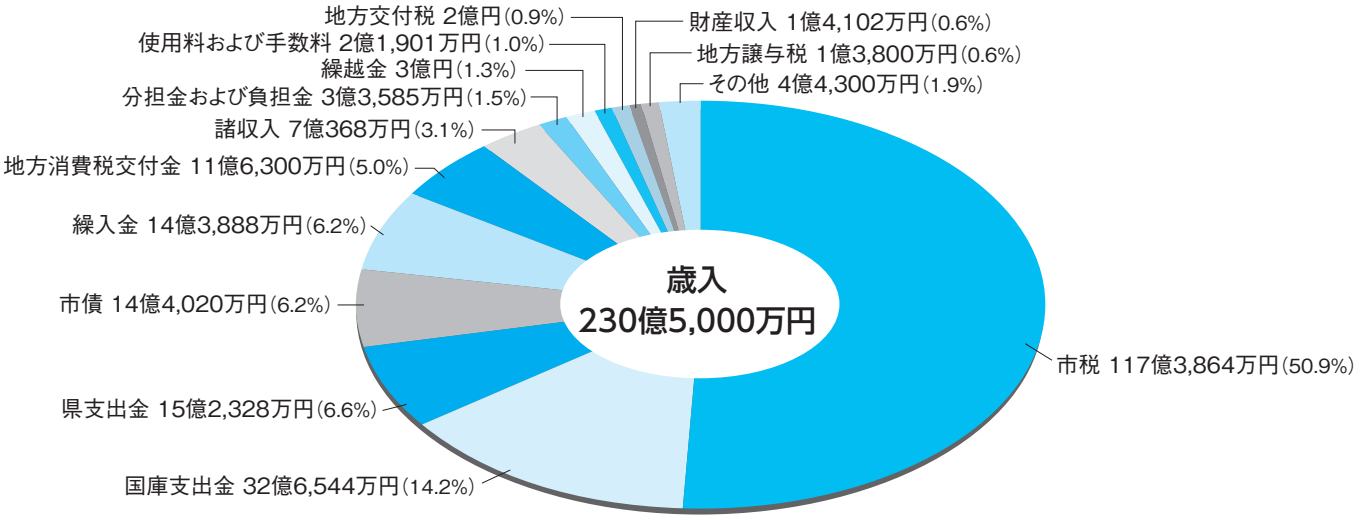
平成29年度においては、第6次知立市総合計画の将来像である『安らぎ･にぎわう　住み良さを誇れるまち「輝くまち　みんなの知立」』や知立市人口ビジョン・まち・ひと・しごと総合戦略推進の実現に向けた事業などに、限られた財源を有効に活用し、優先順位を決め予算編成を行いました。

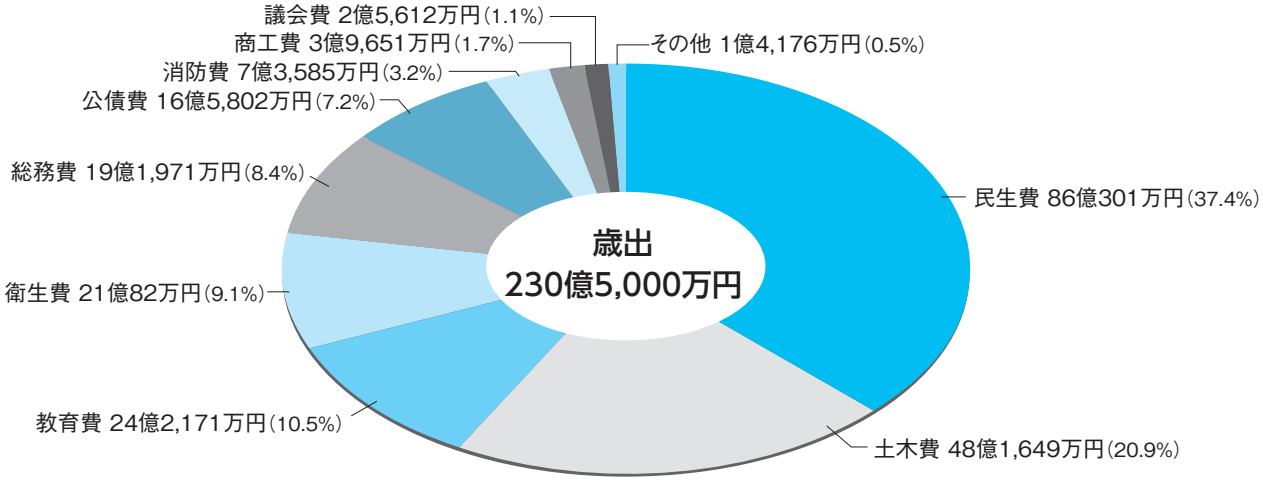
また、予算の編成を行うに際しては、財政の弾力性を示す経常収支比率が高く、財政の硬直化が進んでいる厳しい財政状況下である危機感を十分認識し、歳入においては、市債の依存度の縮小、歳出においては、「統合化・共同化」により経費削減を図るなど、長期に渡って安定的かつ健全な財政基盤の確立を基本姿勢としました。

▶問合せ　財務課　財政係（☎95-0146）

1. 一般会計　総額230億5,000万円（前年度比　△10億5,000万円　4.4％減）

（　）内は構成比





2. 特別会計　総額123億2,060万円（前年度比　1億9,390万円　1.6％増）

会計名	予算額	前年度比
国民健康保険	61億4,240万円	1.8％増
公共下水道事業	20億4,650万円	5.6％減
土地取得	1,110万円	640.0％増
介護保険	33億3,620万円	5.8％増
後期高齢者医療	7億8,440万円	1.4％増

3. 企業会計（水道事業）　総額20億5,700万円（前年度比　1億6,400万円　8.7％増）

内訳

収益的支出　12億9,100万円

資本的支出　7億6,600万円

平成29年度 当初予算 主要事業の紹介

一般会計

人と環境にやさしく、健康で安心して暮らせるまちづくり

1 昭和未来会議推進事業［拡充］ 741万円（福祉課）
昭和地区または知立東小学校区住民を主に対象とした地区会議を開催します。自ら主体的に取り組むべきことを議論、抽出し、課題解決に向けた取組を進めることで、地域福祉の推進や魅力発信を実現します。

2 高齢者ミニバス運賃無料化事業［新規］ 329万円（長寿介護課）
75歳以上の市民に対して、運賃を無料化することで、外出・社会参加を促し健康寿命の延伸を図るとともに、高齢者ドライバーによる交通事故防止を図ります。

3 障害者相談支援事業［拡充］ 3,565万円（福祉課）
障がい者相談支援事業所に障がい者等の相談・支援を委託することで、障がい者の自立を支援します。現在5人体制である相談員を1人増員し、6人体制とします。

4 障がい福祉計画策定事業［新規］ 303万円（福祉課）
「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づき、障がい福祉サービスなどの具体的な見込みと確保策を定める計画策定を委託します。

5 老人福祉センター等改修事業 2,606万円（長寿介護課）
平成29年4月からの介護予防・日常生活支援総合事業の実施に伴い、介護予防教室等が実施できる部屋への改修工事や福祉体育館1階のトイレ改修を行い、介護予防事業の拠点整備を図ります。

6 環境基本計画策定事業 577万円（環境課）
現行の「知立市環境基本計画」が平成29年度で終了するため、「第2次知立市環境基本計画」を策定します。また、「知立市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」も本計画に包括します。

7 住宅用地球温暖化対策設備導入促進事業［拡充］ 1,362万円（環境課）
住宅用太陽光発電システム及び住宅用燃料電池システムの設置等に対し補助を行ってきましたが、新たに次世代自動車の購入に対して補助を拡充することで、温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化の防止を推進します。

8 不燃物分別作業場整備事業［新規］ 3,318万円（環境課）
不燃物の分別を再確認する作業場を設け、処理の効率化と資源のリサイクル率向上を図ります。

9 消費者行政事業（消費生活センター設置）［新規］ 190万円（経済課）
消費生活センターを設置することにより、消費者が質の高い相談・救済を受けられる体制を整備します。

人々が集う交流のまちづくり

1 中小企業再投資促進事業費補助事業 5,176万円（経済課）
長年にわたり地域を支える市内企業の設備投資に対し補助を行います。

2 観光案内所設置事業［新規］ 2,334万円（経済課）
観光情報の発信、土産品の販売、来訪者の休憩所等を提供する場として、観光案内所を設置することで、観光客等来訪者への利便性の向上と観光振興を図ります。

3 ユネスコ無形文化遺産イベント事業［新規］ 720万円（経済課）
ユネスコ無形文化遺産に登録された知立の山車文楽とからくりを活用し、知立市観光協会に委託して観光行事を開催することで、知立市の魅力を発信するとともに地域・観光の活性化を図ります。

4 牛田町八橋1号線道路改良事業［新規］ 300万円（土木課）
踏切道改良促進法の指定を受け、踏切構造改良と共に道路改良を実施することにより、歩行者の安全確保と交通の円滑化を図ります。

5 長田排水路改修事業 200万円（土木課）
老朽化した長田排水路を改修工事することで、健全な環境整備を図ります。

6　八橋里線整備事業［新規］　400万円（都市計画課）
　市北東部地区の幹線道路である八橋里線を整備することで、豊田市、安城市への移動性および利便性の向上を図ります。

7　知立環状線整備事業　8,320万円（都市計画課）

8　知立駅周辺土地区画整理事業　10億3,853万円（都市開発課）

9　知立駅北地区市街地再開発事業　4億2,933万円（まちづくり課）

10　知立連続立体交差事業　7億3,643万円（都市開発課）

11　知立連続立体交差関連事業（市道山町17号線関連）　1億946万円（都市開発課）

12　西新地地区土地利用計画調査事業　308万円（まちづくり課）

13　知立駅南土地区画整理事業　1,500万円（都市開発課）
　知立駅を中心とした名古屋鉄道名古屋本線と三河線延長約5.0kmの区間を連続的に高架化することに加え、知立駅周辺の土地区画整理事業、知立駅北地区市街地再開発事業などを一体的に整備することにより新たな都市機能の立地とまちづくりを誘導し、中心市街地の活性化を図ります。そして、鉄道高架事業の事業効果を更に高め、駅南北地区の交通環境を一体的に改善するため、知立駅南土地区画整理事業の計画を行います。

14　空家対策事業［拡充］　652万円（建築課）
　空家等対策計画の策定とシステム構築を委託で実施し、所有者への適切な維持管理の指導、周知等必要な事業を行うとともに、特定空家の未然防止に努めます。

次代を担う子どもを豊かに育むまちづくり

1　高根保育園園舎増設事業［新規］　459万円（子ども課）
　民間保育所の縮小に伴い、必要となる園児の受け入れ施設として、高根保育園の園舎を増設することで受け入れを確保します。

2　児童厚生員処遇改善事業［拡充］　7,866万円（子ども課）
　児童厚生員の月額報酬を現在の149,500円から175,200円に増額します。現在4人体制である来迎寺児童センターの児童厚生員について、2人増員し、6人体制とします。

3　（仮称）来迎寺児童クラブ整備事業［新規］　9,092万円（子ども課）
　来迎寺児童クラブを整備することで、「知立市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」で定める面積基準を満たすとともに、児童の育成環境の充実と健やかな成長を図ります。

4　にじいろニコニコ事業（母子保健支援相談員）［拡充］　549万円（健康増進課）
　現在兼任の保健師1人体制である母子保健支援相談員を2人の専任に拡充します。

5　にじいろニコニコ事業（産後ケア事業）［新規］　153万円（健康増進課）
　産後に母子が宿泊及び通所できる場として医療機関及び助産院に委託し、育児に資する指導等を行うことで、安心して育児ができる環境整備を行います。

6　少人数学級事業　7,026万円（学校教育課）
　子どもたち一人一人に対してきめ細かな教育を進めるために、小学校全学年で35人学級を実施します。

7　小学校保全事業（知立小学校校舎耐力度調査）［新規］　926万円（教育庶務課）
　経年劣化により機能低下が進んでいる知立小学校校舎の耐力度調査を実施し、今後の大規模改造工事を含めた整備方針を決めます。

8　小学校情報機器管理事業（デジタル教科書・ICT支援・パソコン教室）［新規・拡充］　5,062万円（教育庶務課）
　パソコン教室内の老朽化した機器をICT化に対応した機器へ更新します。また、デジタル教科書の導入とICT支援員を配置することで、ICTを活用した教育環境を整備します。

9　（仮称）来迎寺放課後子ども教室整備事業［新規］　8,610万円（学校教育課）
　来迎寺小学校区の児童数増加に伴い、現在の放課後子ども教室が使用できなくなります。新たに来迎寺小子ども教室を建設することで、児童が放課後等を安全安心に過ごせる場を確保するとともに、多様な体験・活動を行うことができる環境整備を行います。

互いの人権を尊重し、思いやりの心を育むまちづくり

1　男女共同参画プラン等策定事業［新規］　423万円（協働推進課）
　現在の「男女共同参画プラン」および「人権教育・啓発に関する知立市行動計画」を社会情勢の変化に合わせた見直しをすることで、男女共同参画社会の実現と人権が尊重されるまちづくりを目指します。

芸術や文化を大切にするまちづくり

1　歴史文化基本構想策定事業　528万円（文化課）
　歴史と伝統を生かすために総合的に保存・活用する計画作りとして歴史文化基本構想を作成します。

2　ユネスコ登録記念事業　80万円（文化課）
　平成28年12月1日に「知立の山車文楽とからくり」を含む全国山･鉾･屋台保存連合会（加盟数33団体）の「山・鉾・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。ユネスコ登録の情報発信と後継者育成事業を実施することで、伝統文化を保存、継承していく仕組みづくりを進めます。

3　市民体育館開館日拡大事業［拡充］　27万円（生涯学習スポーツ課）
　現在休館日である月曜日が祝日と重なる場合に開館することで、利用者数の拡大と利便性の向上を図ります。

知立が輝くための仕組みづくり

1　（仮称）多目的交流センター整備事業［新規］　996万円（協働推進課）
　昭和地区は高齢者と外国人の割合が高く、既存の多文化共生センターの隣に（仮称）多目的交流センターを整備することで、地域コミュニティの活性化を図ります。

2　コンビニエンスストア証明発行事業　1,841万円（市民課）
　全国主要コンビニエンスストアで、個人番号カードを利用した住民票の写し、印鑑証明、戸籍謄抄本等の証明書を発行できる環境整備を行うことで、利用者の利便性を高めます。

その他の主要事業

1　立地適正化計画策定事業　1,342万円（都市計画課）
　立地適正化計画は現状の都市構造の評価を行い、住みよい環境、暮らしやすいまちの維持、向上を図り、居住機能や福祉・商業等の生活サービスを向上させる施設を立地し、それらの施設をつなぐ公共交通の充実を図る計画です。平成29年度は居住誘導区域の設定を行います。

特別会計・企業会計

1　介護保険特別会計　平成29年4月から地域の実情に応じた取組ができる介護予防・日常生活支援総合事業を地域支援事業として実施します。

2　水道事業会計　管路耐震化事業として、新たに八橋配水場から重要給水施設への配水管布設を実施します。

知立市の予算を家計に例えると…

知立市の一般会計予算230億5,000万円を平成27年分民間給与実態統計調査（国税庁）平均給与420万4千円（月収35万円）の家計に例えてみました。

■知立市1か月の家計簿（単位：円）

○収入

給与（市税、交付税、交付金等）	279,000
うち基本給（市税）	178,000
うち諸手当（国県支出金等）	101,000
副業収入（使用料･その他収入等）	27,000
貯金切崩し（繰入金）	22,000
銀行からの借り入れ（市債）	22,000
合　計	350,000

○貯金および借金残高（平成28年度末時点見込）

貯金残高	713,000
借金残高	3,250,000

○支出

食費（人件費）	61,000
医療費（扶助費）	70,000
ローン返済費（公債費）	25,000
家・車・家電等の買替え・修繕（普通建設・維持補修費）	52,000
光熱水費（物件費・補助費等）	103,000
貯金（積立金･投資･出資･貸付金）	3,000
子どもへの仕送り（繰出金）	35,000
その他（予備費）	1,000
合　計	350,000